

KSDRY 製品仕様・吸湿性能表

ドライシステムソリューション株式会社 2018.2.1

標準タイプ	2HP	7HP	10HP	15HP	20HP	30HP
重さ	約3g	約8g	約12g	約17g	約23g	約33g
袋の重さ	1g	1g	2g	2g	3g	3g
吸湿量	約7.5g	約26g	約38g	約56g	約75g	約110g
サイズ(mm)	55×50×2	55×80×3	82×85×4	82×95×4	82×120×5	110×130×7
梱包単位(個)	(300×8) 2400	(150×8) 1200	(120×6) 720	(100×6) 600	(60×6) 360	(50×6) 300

標準タイプ	50HP	70HP	100HP	150HP	200HP
重さ	約54g	約75g	約106g	約157g	約208g
袋の重さ	4g	5g	6g	7g	8g
吸湿量	約185g	約265g	約375g	約560g	約750g
サイズ(mm)	110×170×8	165×140×9	165×155×9	165×185×9	165×210×9
梱包単位(個)	(100×2) 200	(60×2) 120	(60×2) 120	(40×2) 80	(30×2) 60

フィルムタイプ	7HP-F	10HP-F	15HP-F	20HP-F	30HP-F	50HP-F
重さ	約8g	約12g	約17g	約23g	約33g	約54g
袋の重さ	3g	3g	3g	3g	3g	4g
吸湿量	約26g	約38g	約56g	約75g	約110g	約185g
サイズ(mm)	82×130×2	82×130×3	82×130×3	110×130×7	110×130×7	110×170×8

フィルムタイプ	70HP-F	100HP-F	150HP-F	200HP-F
重さ	約75g	約106g	約157g	約208g
袋の重さ	5g	6g	7g	8g
吸湿量	約265g	約375g	約560g	約750g
サイズ(mm)	165×140×9	165×155×9	165×185×9	165×210×9

販売者： 讃岐化成株式会社

〒769-0201 香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁2番地4
 TEL0877-49-3332
 URL <http://www.sanuki-k.co.jp>



私たちDSS社は、
 防湿輸送の総合コンサルタントを目的とした会社です。
 多種多様なバリアー材、防錆剤、乾燥剤を
 最適な形で組み合わせ、
 大切な貴社のお荷物を湿気から守る
 ベストソリューションをご提案するのが、
 我々の使命です。

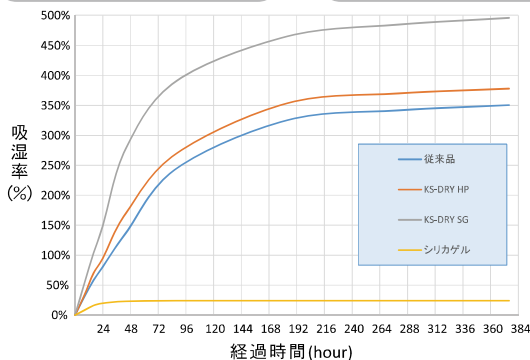


KSDRY の特徴

国内最高レベルの性能を有しております。

- 国内で最高レベルの390%程度まで吸湿してゼリー状になります。(条件：30℃/90%)
- 原料の粒度と形状をしっかりと合わせたことで高性能化を実現しました。

- 1** 吸湿量が従来品からさらにUPして、総使用量の低減が可能になりました。初期吸湿速度が速く、しっかりと荷を守ります。
- 2** 純度の高い無水塩カルと高性能CMCが主原料なので非常に**安全性が高い**と言えます。どちらも食品添加物として幅広く家庭でお使いいただけます。
- 3** 乾燥剤を開発して15年のエキスパートが防湿梱包の診断を行うことで、より効率の良い方法をご提案いたします。



塩化カルシウムと高性能CMC

高性能乾燥剤

KSDRY HP/HP-F製品

HP シリーズ



HP-F シリーズ



金属部品の防錆保管及び運搬の事例

KSDRY

略図	しくみ	DRY/WET	コメント	
1 防錆油にワークを浸す 	油に浸す 水と空気に触れさせない	WET	廃液処理と脱脂にコストが必要	×
2 防錆紙に包む 	単分子防錆被膜	DRY	結露対策が別途必要	▲
3 防錆フィルムで包む 	単分子防錆被膜	DRY	結露対策が別途必要	▲
4 良い包材と防錆剤 	単分子防錆被膜	DRY	結露対策が別途必要	▲
5 良い包材とKSDRY 	湿度を下げる (水分の除去)	DRY	ベストな選択	○

- * 錆は金属表面に結露した水滴が付着することで発生します。水滴が金属表面に付着すると金属表面には不均衡電位が生じ、これによる電気化学反応によって錆が形成されます。
- * 錆を防ぐにはこの不均衡電位を抑える気化性防錆剤など②③④の方法と湿気を抑える乾燥材⑤の方法があります。
良い包材=透湿度が小さいもの(防湿袋)を指します。
- * 防錆フィルムをお使いのお客様は非常に多いですが、⑤の良い包材とKSDRYの組み合わせだけでも防錆は可能です。⑤が一番経済的で環境にやさしい方法ですが、ワーク表面の清浄度(クリーン度・表面の活性度)がすごく影響しますので・・・現物で試験をして確かめる必要があります。
- * DRY/WETについては、DRY方式をお選び下さい。弊社ではいろいろな提案及び、輸送テストも一緒に行わせていただき、その後切り替えをお願いしております。
その際には湿度測定器(ロガー)をお貸ししています。